

殺菌剤

シグナム® WDG

®=BASF社の登録商標



殺菌剤分類 **11, 7**

有効成分

ピラクロストロビン 6.7%

ボスカリド 26.7%

登録番号：第22290号

性 状：褐色水和性細粒
及び微粒

毒 性：普通物*

有効年限：5年

包 装：(100g×10袋)×6箱

333g×30袋

500g×20袋

* 普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

■特長

- 作用性の異なる剤を混合することで、うどんこ病、炭疽病、つる枯病、すすかび病、灰色かび病、菌核病、べと病など幅広い病害にすぐれた効果を示します。
- 両有効成分とも葉内に浸達するため残効性、耐雨性にすぐれます。
- 孢子発芽阻害にすぐれ、発病前から発病初期の予防的な散布ですぐれた効果を示します。

■適用病害と使用方法

(2022年8月24日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
ねぎ	べと病 黒斑病 さび病	1500倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
たまねぎ	灰色腐敗病	500倍	—	定植直前	1回	5分間 苗根部 浸漬	4回以内 (定植前は 1回以内、 定植後は 3回以内)	4回以内 (定植前は 1回以内、 定植後は 3回以内)
	灰色腐敗病 灰色かび病 べと病 小菌核病 白色疫病	1500倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布		
キャベツ	菌核病 株腐病 黒斑病				2回以内		2回以内	2回以内
	べと病	1500～ 2000倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数	
はくさい	菌核病 炭疽病 尻腐病	1500倍	100～ 300ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内	
	白斑病 黒斑病 べと病 白さび病	1500～ 2000倍							
なす	灰色かび病 菌核病 うどんこ病 褐色斑点病	1500倍							2回以内
	すすかび病	1500～ 2000倍							
トマト ミニトマト	葉かび病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 菌核病	2000倍		収穫前日 まで	2回以内		2回以内		2回以内
ピーマン	うどんこ病 炭疽病 黒枯病 灰色かび病 斑点病								
とうがらし類	うどんこ病 炭疽病 黒枯病 灰色かび病							2回以内	
すいか	炭疽病 うどんこ病 つる枯病	1500～ 2000倍		3回以内	3回以内		3回以内	3回以内	
	菌核病 褐色腐敗病	1500倍							
かぼちゃ	うどんこ病	1500～ 2000倍		2回以内	2回以内		2回以内	3回以内	
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病	2000倍							
にんにく	さび病 白斑葉枯病 黄斑病 葉枯病	1500倍		収穫3日前 まで	3回以内		3回以内	3回以内	
レタス	灰色かび病 菌核病 すそ枯病	1500～ 2000倍	収穫7日前 まで	2回以内	2回以内	2回以内			
	べと病								
非結球 レタス	灰色かび病 菌核病 すそ枯病	1500倍	収穫14日前 まで	2回以内	2回以内	2回以内			
	べと病	1500～ 2000倍							
はなやさい類	菌核病 黒すす病	1500倍	収穫7日前 まで	2回以内	2回以内	2回以内			
	べと病	1500～ 2000倍							

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロピンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数		
いちご	灰色かび病	1500～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	3回以内		
	うどんこ病 炭疽病	2000倍		収穫3日前まで						
バジル	べと病									
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1500倍	100～500ℓ/10a	収穫前日まで						2回以内
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 さび病	1500～2000倍	100～300ℓ/10a							
	うどんこ病							収穫7日前まで		
未成熟 とうもろこし	すす紋病	2000倍								

マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
はなやさい類	カリフラワー、茎ブロッコリー、ブロッコリー

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。
<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等にのみ使用できるものです。

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- なすに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるので、さけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

〈非結球レタスについて〉

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

魚毒性…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保 管…直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、
またはクリックしてください。

